

令和5年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラス芝浦教室

集計日：令和5年12月23日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		指導訓練室は53.44㎡あり、十分なスペースが確保されています。	引き続き利用人数に応じたスペースを確保いたします。
② 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		資格保有者や職員を加配配置し、幅広い支援ができるようにしております。	引き続き配置基準を遵守して受け入れをおこないます。
③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		段差はありますが、スロープを設置すると手洗い場や玄関のスペースが限られてしまい、リスクが高くなるため、必要に応じて指導員が介助を行います。	要望に応じてスロープの設置なども検討いたします。
④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		KPI目標を設定し振り返りを実施したり、教室会議や朝礼・終礼などで振り返りを行い、課題が出た際には改善案を話し合っております。	職員間で目標に対する共通認識が持てるように確認を行います。
⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		アンケートでいただいた意見は職員に共有し、対策を講じています。	対策を講じるまでにタイムラグが生じているため、素早い対応が行えるよう努めてまいります。
⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		H Pにて公開し、保護者等に周知しています。	引き続き公開した際には、保護者の方に周知してまいります。
⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		教室の入り口に第三者評価(2022年1月19日)を受けていることを知らせるシールを貼り、保護者にも周知しております。	引き続き公開した際には、保護者の方に周知してまいります。
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		必修の研修だけでなく、研修の案内を回覧し、職員の希望に応じて研修に参加できるようシフト等の調整を行っています。	研修で学んだことを日々の支援に活用できるよう努めてまいります。
⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		アセスメントツールを活用し、個別支援計画更新時など定期的に分析を行っています。	引き続き適切な目標設定ができるように、保護者や他機関とも連携をとりながら利用者支援を行ってまいります。
⑩ 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		社内で独自に開発されたアセスメントツールを活用して子どもの状況把握に努めています。	今後も継続してアセスメントツールを活用してまいります。
⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		太田ステージに基づいたアセスメントシートや保護者からの聞き取りをもとに、支援内容を具体的に設定しています。	今後も定期的に保護者様からの聞き取りを行い、アセスメントを行ってまいります。
⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		支援計画の目標達成に向けた支援行っています。	目標を達成したり、目標が合っていない場合は期日前でも修正いたしますので、気になる点等ございましたら職員までお声がけください。

⑬活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	個別レッスンは担当指導員が立案、集団プログラムは、ハッピーテラスのプログラムをもとに担当指導員とサブの指導員で必要に応じて相談しながら作成しています。	引き続き子どもの発達段階や興味に合わせた楽しいトレーニングを提供できるよう努めてまいります。
⑭活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○	児童の成長に合わせた活動や季節を感じられる活動を取り入れるなど、保護者と課題を共有しながら内容を立案しています。	引き続き子どもの発達段階や興味に合わせた幅広いトレーニングを提供できるよう努めてまいります。
⑮子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○	個別と集団でできる支援計画を、ケース検討会議で検討して組み込んでいます。	今後もアセスメントを取りつつ、個別・集団に適した目標の設定を行います。
⑯支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	朝礼時に役割や共有事項の確認、集団プログラムでは詳細な打ち合わせを職員間で行っています。	引き続き共有を行う時間を確保してまいります。
⑰支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	終礼時に当日のお子さまの様子での気付きや支援内容の共有を行っています。	引き続き共有を行う時間を確保してまいります。
⑱日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	社内のツールを活用し、支援日誌に記録を残しています。	共有事項に関しても、社内のツールを拡張し記録として残しています。
⑲定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	最低でも3か月に1度振り返りを行い、6か月に1度は児発管や担当職員が中心となりケース検討会議を開催して、計画の見直しを行っています。	朝礼や終礼の際にもお子さまの様子で気になることや、目標についての共有を行ってまいります。
⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ども状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	担当職員が参加しています。必要に応じて管理者なども対応しています。	日頃からお子さまについての共有を密にしているため、最新の情報も取り逃さないよう引き続き努めてまいります。
㉑母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	必要に応じて、子ども家庭支援センターや児童相談支援などと情報を共有しています。	引き続き日頃から児童について情報共有をおこなってまいります。
㉒医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	医療的ケアが必要な児童がいないため現在は支援を行っていませんが、連携している医療機関があります。	今後医療的ケアが必要な児童を受け入れる可能性を踏まえて対応方法について確認をおこないます。
㉓医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	医療的ケアが必要な児童がいないため現在は支援を行っていませんが、必要に応じて主治医と連携を行う予定です。	今後医療的ケアが必要な児童を受け入れる可能性を踏まえて対応方法について確認をおこないます。
㉔保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	必要に応じて、幼稚園や保育園への訪問を行い、情報共有を行っています。	引き続きご希望に応じて実施を予定しております。
㉕小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	必要に応じて、書面をもって情報共有を行っています。	引き続きご希望に応じて実施を予定しております。
㉖他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	センターへの見学や、センター・他事業からの見学受け入れなどを行っています。	引き続き日頃から児童について情報共有をおこなってまいります。
㉗保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	イベントで外部講師を招いたり、きょうだい児と一緒に参加する活動を行っていますが、児童クラブなどとの交流機会は設けていません。	今後は感染対策を行ったうえで、地域の皆さんも参加できるイベントを計画してまいります。

⑳ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>		区の障害児通所支援事業所連絡会には参加しています。	今後は、情報収集に力を入れて積極的に参加できる体制の整備に努めてまいります。
㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>		トレーニング後の振り返りの時間や、定期的に保護者面談を通じて共通理解を図っています。	引き続き日頃から保護者の方へのお子さまの情報共有をおこなってまいります。
㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	<input type="radio"/>		ペアレントトレーニングは実施していませんが、振り返りの時間や保護者面談などでご家庭での困りごとへの対策について支援を行っています。	引き続き保護者の方とお話しする時間を設けてまいります。
㉓ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>		契約時に料金別紙など資料を用いて説明を行い、質問や疑問を伺う時間を設けています。	運営規定や利用者負担等の内容に変更がある場合には、都度説明を行っております。
㉔ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>		契約時や、定期的な面談時に支援計画に沿って内容の説明を行い、同意を得ています。	個別支援計画の内容に変更がある場合には、都度説明を行っております。
㉕ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>		フィードバック時や面談だけでなく、必要に応じて園へ訪問し、実際の様子を見て助言支援を行っています。	引き続きお話しする時間を設けてまいります。
㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>		保護者参加のイベントを実施し保護者が交流できるような場は設けています。	今後も保護者間で交流ができるようなイベントを企画してまいります。
㉗ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>		相談事項があった際は職員間で共有を図り、必要に応じて相談支援を交えて対応方法の検討を行っています。	今後も必要に応じて相談の受け入れや、迅速な対応ができるよう努めていきます。
㉘ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>		毎月ハッピー通信という支援内容が記載された会報を発行しており、また、HPにはイベントの様子などが書かれたブログも掲載しています。	ブログも定期的に掲載できるように努めてまいります。
㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>		個人情報は鍵付きの書庫に保管し、職員室に職員不在の際には教室に施錠を行っています。	引き続き個人情報の取り扱いには細心の注意を払って取り扱うように努めてまいります。
㉚ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>		保護者のご希望に応じてSMS、メール、電話等の複数の伝達手段を用いています。	引き続きお子さまや保護者の方とスムーズな情報伝達ができるよう、複数の伝達手段を用いる等の配慮を行ってまいります。
㉛ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>		地域住民の方を招待する機会は設けておりませんが、他事業所からの見学などは随時受け入れています。	今後は感染対策を行ったうえで地域の皆さんも参加できるイベントを計画してまいります。
㉜ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>		各種マニュアルを作成し、研修も実施しています。	定期的に職員間での読み合わせの機会を設け、保護者の方への周知も行ってまいります。
㉝ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		年に2回、火災や地震などを想定して訓練を行っています。	さまざまな災害を想定し避難訓練を行ってまいります。
㉞ 事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		てんかん発作等は緊急連絡票に記載いただき、年に1度更新を行っています。	緊急連絡票が未提出の方には引き続き声掛けを行ってまいります。

④食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在は食事提供をしていますが、お子さまにアレルギーがある場合は緊急連絡票に記載していただいております。	緊急連絡票が未提出の方には引き続き声掛けを行ってまいります。
④ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		年度末に集計を行い、スタッフ全員で対応策を検討しています。日々のヒヤリハットも出勤している職員全員で対応策を検討し、職員全員に共有しております。	引き続き、ヒヤリハットが生じた際に毎回終礼時に振り返りを行い、再発防止に努めてまいります。
⑤虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		委員会や外部講師による社内研修、港区で行われている外部研修に参加しています。	引き続き研修機会などを確保し、虐待防止に努めてまいります。
⑥どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		虐待防止委員会の委員長（必要に応じて相談支援相談員）を含めた検討会議を開き、身体拘束解除に向けた支援計画を立案して保護者へ説明し、同意を得ています。	身体拘束解除に向けた支援目標を立てて取り組んでまいります。